

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
評価実施期間	2011年8月5日 ～ 2012年2月29日 2段階方式評価 実地訪問調査日 2012年 2月 8日 (水) 現場の保育サービスを中心に確認 2012年 1月13日 (水) 評価基準を中心に確認
評価調査者	HF05-1-0098 吉山 浩 (リーダー) HF06-1-0019 山田 奈津美 (メンバー) HF05-1-0100 池上 裕子 (報告書査読)

2 福祉サービス事業者 概要

事業所名称： 浜風夢保育園	種 別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 前川 好美 園長 (土谷主任、 渋谷副主任)	開設年： 平成17年10月1日
経営主体： 社会福祉法人 夢工房	定 員： 60名
所 在 地：〒 659-0032 芦屋市浜風町1-1	
電話番号： 0797(25)9614	FAX番号： 0797(38)9614
メール： hamayume@yumekoubou.or.jp	http://www.yumekoubou.or.jp/hoiku/hamayume/page1/main.html



3. 理念・方針等

保育理念

子どもの最善の利益を考慮し、利用者主体を根幹に、行政、地域、保育園の緊密な連携を強化し、地域の子育て支援の核となる。

保育方針

「こどもは豊かに伸びていく可能性をそのうちに秘めている。その子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくりだす力の基礎を培う。」

見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、誉められ、喜ばれることにより、自分自身が生きている意味を子どもなりに感じたり、愛情をたくさん注がれた「人間」の生きる力の大きさを大切にできる保育と、人から守られるだけでなく自立していく過程で、困難なことや悲しいことに立ち向かう勇気と気力を育てていくために、成長過程で課題を解決しようとする自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考える保育を目指す。

4 特に力を入れて取り組んでいる点

異年齢児保育

- ・幼児のみの保育園のため、日々異年齢での活動が多く、小さな行事（誕生会・ハロウィン・節分など）に関しては、一緒に楽しく過ごしています。

環境づくり

- ・職員間では、週1回の職員会議で、保育室や園庭などの環境整備を中心に目標を立て、みんなで協力してその目標を達成できるようにしています。保育園の環境を整えながら、子どもたちや地域から来られる方々が、心地よく過ごせるように心がけています。

地域交流

- ・小学校・地域との連携を大切にし、給食交流・音楽会・運動会の見学・作品展への参加や合同避難訓練を行っています。特に津波発生時の避難訓練は、小学校・幼稚園と共に、PTA 愛護委員会・地域安全パトロール班の方々の見守りの中、もし災害が起こったらどうすべきかなどを学び、よい体験ができています。子どもたち自身に何が重要なのかを知ってもらうために、全職員も地域との連携を大切にしています。

5. 園児の状況に関する事項 (平成24年1月1日現在)

3歳児	4歳児	5歳児	合計
22名	19名	21名	62名

6. 職員の状況に関する事項 (平成24年1月1日現在)

	総数	園長	主任	副主任
常勤	12名	1名	1名	1名
非常勤	5名	—	—	—
		保育士	栄養士	調理師
常勤		7名	1名	1名
非常勤		3名	—	2名

7. ボランティアの受け入れ

平成23年度 ボランティアの受け入れ人数 1人 保育補助

8. 実習生の受け入れ

平成23年度 実習生の受け入れ人数 保育士 7人 (大学生 2人、短大 4人、専門学校 1人)

9. サービス利用者からの意見等の聴取について

- ・ 随時、意見を投稿して頂けるように、やぎさんポスト（意見箱）の設置
- ・ 保護者参加の行事に関しては、アンケートを依頼・集計を行い、その後、職員会議にて話し合いを行い、集計結果と改善策をお手紙や、掲示物にてお知らせし、次回に活かしている。
- ・ 登・降園時に保護者に直接、要望や意見を聞き、具体的な対策を掲示物で貼り出している。
- ・ 意見や苦情があった場合は、開示希望であれば、全文を掲示し、その苦情に対する答えや解決策も、同じく掲示している。

10. 評価結果 小学校との連携 芦屋での成功モデルを全国へ

○総評

☆☆☆ 特に評価の高い点 ☆☆☆

- 1) 小学校と連携し、学校の遊休スペースに保育園を設立し、芦屋市の待機児童の減少に貢献、地域で子育てをしています。この成功モデルが兵庫県、全国へ広がることを期待します。
- 2) 保育士全員が、全ての子どもの情報を共有しており、先生が若く活発、元気で、チャレンジ精神旺盛です。(小規模保育園の強み) また、園長も懐が深く、頑張る保育士を脇から支えています。その為、職員の成長が早いです。
- 3) 保護者アンケート回収率 100%達成！！
日頃の保育サービスが認められている証しで、保護者の期待の表れです。その声援に応える様、奮闘してください。
- 4) 早くも2度目の受審です(初回 2009年3月)
質の高い保育サービスを提供したい、透明性を上げたい、客観性を高めたい、という保育園の意欲・姿勢そのもの

今後、さらに深めてもらいたい点

様々な取り組み状況を、園の応援団である保護者に伝える方法等に関して、

さらに創意工夫されることを望みます。

(例. 保護者アンケートの声より 公園等にどんどん連れ出して欲しい

→緑の多い広い近隣の公園に良く行ってますね。 ①どれくらいの時間 ②何時から何時まで

③公園でどんな遊びをしていたか 等、保護者にどうやって効果的に伝えるのか 等)

第三者評価結果に対する事業者のコメント

前回に第三者評価に取り組んだことで、目標ができ3年がたちました。

この度、2回目の第三者評価に取り組んだことで、新たに改善された保育内容の見直しや、利用者の関係の見直しができたとと思います。また、様々な事に気づき、感じたことに目標を立て、全職員で考え直し、次年度の課題に取り上げ、取り組んでいきたいとと思います。

- 各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙1)
- 各評価項目に係る評価結果グラフ (別紙2)

評価細目の第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針を確立している。	
I-1-(1)-① 理念を明文化している。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針を明文化している。	a
I-1-(2) 理念や基本方針を周知している。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a

特記事項

事務所前への掲示、「保育園のしおり」に記載し、職員会議などでも職員に説明を行っている。また、職員が常に目にし、内容を理解しやりがいをもって行動できるように各クラスのマニュアルにはさんである。保護者には、クラス懇談会・個別懇談会、「手紙」を配布するなどして伝えています。

2/8 (水) 訪問調査当日、数名の職員にヒアリングし、理念・方針・目標の理解度を検証、確認しました。

I-2 計画の策定

	第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画を策定している。	a
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a
I-2-(2) 計画を適切に策定している。	
I-2-(2)-① 計画の策定を組織的に行っている。	a
I-2-(2)-② 計画を職員や利用者に周知している。	a

特記事項

「中・長期計画」(設備面・保育内容・人材育成等)を確認しました。数字等を取り入れ、誰でも結果を評価できるようにしていました。

園長・主任・副主任を中心に職員会議で、計画の説明がなされており、見直しも実施されていました。また、年度初めに、保護者に説明がなされています。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任を明確にしている。	
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

管理者の役割と責任は、「組織図・職務分掌」に記載しており、また職員が確認できるようにファイルされていました。保護者向けに玄関に掲示しています。

「遵守すべき法令リスト」には、保育士に把握しておいて欲しい法令が記載しており、1/19付け「職員会議議事録」より副主任による講習会が実施されている事が確認できました。また、訪問調査当日、副主任にインタビューを行い、重要な5つの法令を聞き取り確認しました。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査等を実施している。	a

特記事項

<p>芦屋の本部が主導で、毎月、経営環境・状況の把握・課題の解決を図るため、園長会が開催されていて、調査日には豊富な資料が用意されていました。</p> <p>確認した資料：11/4（金）実施の外部監査資料、評議会ファイル</p>
--

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制を整備している。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮している。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a
Ⅱ-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a
Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a
Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
Ⅱ-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a

園長、主任、副主任3人で、(独)福祉医療機構の最新刊「保育所の経営分析参考指標」を参考に、他の保育園との比較分析が実施されていました。

『人事制度運用マニュアル』、『考課要領(共通要素評価表、専門要素評価表)』、『面談記録等』を確認、評価結果が本人にフィードバックされる仕組みが機能しています。

園長は、保育士に『子どもは、そのまま先生の真似をする』『言葉でのコミュニケーションで何でも伝えられる』と指導しています。また、福岡県のN保育園のT園長の「子どもの心に よろこびの種を まこうよ」等の色紙を廊下に掲示し、保育士が常に『保育の原点』を忘れないよう配慮しています。

経験年数や職責に応じた研修計画を立て、職員教育を効果的に実施しています。

平成23年度の実習生は、主任を窓口とし、7人を受け入れています。

II-3 安全管理

	第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

特記事項

「自衛消防隊の設備及び組織」、「防火管理者」、「保育安全マニュアル」、「安全パトロール打ち合わせ会の記録」等を確認。5歳児のライオン部屋の「保育室点検票」安全面-机や椅子の状況を確認しました。

また、ヒヤリハット活動も熱心に実施していました。

ハインリッヒの法則 - (大きな事故：小さな事故：ヒヤリとした経験：1：29：270) を頭に入れ、ヒヤリに手を打ち、注意喚起から危険箇所を無くす、変えるを実施中。

II-4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係を適切に確保している。	
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携を確保している。	
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-② 関係機関等との連携を適切に行っている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a

特記事項

地域との関係性が非常に良いです。隣接の小学校との連携だけでなく、中学で菜園を借りての野菜作り、子どもたちが園外で活動中に地域の住民のみなさんが、積極的に声をかけてくれています。特に地域の住民のみなさんが、子どもたちに目配りをしてくださっていることは非常に安心できる材料だと思います。



評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(2)-①利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

特記事項

子ども・保護者のプライバシー（羞恥心に配慮）に配慮した規程があり、種々マニュアルにその主旨が盛り込まれています。

保護者より寄せられた苦情、直近1年間 ゼロ0 でした。

保護者懇談会や保育参加の機会があり、保護者の意向を聞き取り、職員会議で話し合っています。園だよりのコメント欄を活用したり、やぎさんポストを設置するなど、複数の手段で保護者が意見を言いやすい環境を整えています。

今回、評価機関のルールに沿って保護者アンケート（時期 10月）を実施、（園児 62人、総家庭数 58家族、アンケート回収 58件、回収率 100%）、保護者の高い満足度を示していました。（別添 アンケート結果-参照）

一部抜粋 総合評価【保育園を7点満点で評価すると】回答数56（無回答2） → 大変満足24（42%）、満足 21（38%）、どちらかといえば満足 7（13%）、どちらともいえない 4（7%）と高い満足度です。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	a
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

週に1度の職員会議にて、現場の改善点、行事の改善の話し合いがなされており、PDCA（計画・実施・チェック・見直し）が実践されています。

「個人情報保護規程」、「個人情報の持ち帰り厳禁」、「誓約書」等にて、利用者情報の管理体制が整っていることを確認しました。

園長は、多忙な時間をやり繰りし、大阪府主催の福祉サービス第三者評価5日間調査者研修に参加しています。次は、主任・副主任も受講する計画を持っていました。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

特記事項

<p>「パンフレット」、「保育園のしおり」等の配付、玄関等への張り紙ホームページにても必要と思われる情報は提供しています。また、随時、見学、体験を受け入れ説明も実施しています。</p> <p>また、保護者の同意を示す「入園同意書」も確認しました。</p>

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントを行っている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

<p>「児童票」、「年間指導計画」、「月案」、「週案」、「日案」にて個々の子どもの発達状況を把握し、1年を4期に分けて達成状況を管理しています。計画の見直しも、「省察欄」等を活用し、適宜実施しています。</p> <p>子どもの目標への到達時期は、1期(赤)、2期(緑)、3期(黄)、4期(青)と色で区分し、次に生かす仕組みPDCAのマネジメントが機能しています。</p> <p>訪問評価当日2/8(水)午前中、評価員は、①5才・らいおん ②3才・ぱんだ</p>
--

③4才・きりん 3つのクラスの保育サービスの実施状況を「兵庫県の評価基準IV章」「保育サービス・チェックリスト」に沿って確認しました。

評価対象Ⅳ 実施する福祉サービスの内容

Ⅳ-1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 発達援助の基本	
Ⅳ-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a
Ⅳ-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
Ⅳ-1-(2) 健康管理・食事	
Ⅳ-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
Ⅳ-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
Ⅳ-1-(2)-③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a
Ⅳ-1-(2)-④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
Ⅳ-1-(3) 保育環境	
Ⅳ-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4) 保育内容	
Ⅳ-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
Ⅳ-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
Ⅳ-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑪ チャレンジド保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

栄養・おいしい給食を提供するため、法人全体の栄養士会が、毎月実施されています。保護者アンケートのコメントでも高い評価を受けていますが、管理栄養士、調理師は、さらに腕を磨くべく、「おいしいから売れるのではない 売れているのがおいしい料理だ」日経BP社 発行2011-7-21) のまわし読み後、園長に感想文を提出していました。

アレルギー疾患の子どもは、医師の指示書、「3・9月の除去食品チェック表」等を入念に確認し、出来るだけ外観の相違を少なくするよう配慮し、誤食の無いよう、栄養士、調理師、担任等で万全の体制で確認を行っています。

S学院のスーパーバイザーが毎月来園し、広汎性発達障害等、情緒面も含めた相談・支援を受け、保育スキルの向上に役立っています。

近隣の東浜公園で2/28（火）に実施されるマラソン大会を目指して、子ども達は園庭で練習をしていました。厳冬の風の強いこんな日に、元気な子どもの後を付いて、走りまわれるのは、若くて元気な保育士ならではと感じました。



IV-2 子育て支援

	第三者評価結果
IV-2-(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
IV-2-(1)-⑥ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

特記事項

保護者との個別面談に加え、「引き継ぎ表」、「連絡帳」、「Todays Memory」、園長による面談等、保護者と密な話し合いを実施しています。虐待に関するマニュアルを整備し、子どもの様子に疑問等がある場合は、即座に職員間で情報交換する体制を整備している。

IV-3 安全・事故防止

	第三者評価結果
IV-3-(1) 安全・事故防止	
IV-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a
IV-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
IV-3-(1)-③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
IV-3-(1)-④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a
IV-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a

『衛生管理マニュアル』、『保育安全マニュアル』、『防災・避難訓練マニュアル』を作成し、毎日、「保育室点検票」にて点検を実施しています。

「ヒヤリ・ハット」用紙は、各室で記載し、職員会議で情報交換を行っています。

津波を想定した避難訓練では、隣接する小学校のお兄ちゃん、お姉ちゃんと一緒に近隣の高層マンションまで逃げる練習をしていました。

防犯セキュリティ面では、監視カメラの画像の写り具合、県警ホットラインを確認しました。

避難訓練 (毎月1回)	津波に対する訓練	
	近くの高層マンションまで 逃げました	小学校のお兄ちゃん、 お姉ちゃんと一緒に避難
		